

■ 地域連携活動

「教育支援人材認証プログラム」がスタートします

いま、地域全体で学校教育を支援しようという機運が高まっています。本学芸術学部は、6大学連携教育支援人材育成事業が推進する「教育支援人材認証制度」のプログラム認証を受け、2011年度から「こどもパートナー」「こどもサポーター」の認証が取得できるプログラムを開始します。

本学学生を含んだ地域の支援者に本学の「教育支援人材認証プログラム」を受講していただくことにより、子どもの特性と発達について理解し、「こどもパートナー」「こどもサポーター」という新たな教育ボランティアとして活躍していただくことができます。

本学部では、学部科目「ボランティア・スタディ2」を受講し、単位取得することにより、右記の「こどもパートナー」「こどもサポーター」の認証を受けることができます。本学のプログラムの特徴は、「こどもに関わり合う力」をテーマにして子ども理解を深めた上で、「こども未来学校」の企画・運営によって、実際に子どもに関わる体験をします。その体験と振り返り（反省）を重ねることによって、責任をもって子どもとつながり、積極的に関わっていく教育支援人材を育成します。

また、本学と地域住民とが連携して新しい教育の可能性を開拓することで、地域コミュニティーがもつ「育ての潜在力」を引き出し、本学部は、そのファシリテーターとしての役割を積極的に担います。

■ 地域社会貢献

長岡第四小学校区「あそびの広場」運営支援に学生が参画

総合教育支援センターでは、地域支援事業の一環として様々な行事に参画しています。2月20日（日）長岡第四小学校で開催された「あそびの広場」では、財団法人長岡京市体育協会の依頼を受け、学生スタッフが「ものづくりコーナー」と「にがおえコーナー」を企画・運営しました。

「ものづくりコーナー」では、2つのワークショップを開催しました。ひとつは、毛糸のコースターづくりです。編み棒を使わず、ダンボールの型と毛糸で簡単に制作できるため、幅広い年齢層の方が参加し、好評でした。もうひとつは、カラージュで作るメガネ型ネックレス“めがネックレス”を作る教室です。子どもたちは、それぞれデザイナーになったつもりで、めがねをデザインし、個性的で楽しい“めがネックレス”を完成させました。「にがおえコーナー」は、今回も整理券を発行するほどの人気でした。兄弟2人で描いてもらうなど、ほほえましい姿もみられ、和やかな雰囲気の中、一日は終了しました。芸術を学ぶ学生として、地域の方々にもものづくりの楽しさを伝える良い機会となりました。



こどもパートナー

①こどもに関わり合う力	①支援者とは（1時間） → 「教育学」
	②こどもを取り囲む環境（1時間） → 「教育学」
	③こどもの理解（1時間） → 「保健学」
	④こどもとの接し方（1時間） → 「発育発達学」

■履修時間 4時間以上

こどもサポーター

「こどもサポーター」は「こどもパートナー」のカリキュラムに加えて、下記のカリキュラムの履修が必要です。

②こどもと伝え合う力	・具体的な支援活動を焦点とした専門的内容（3時間） ・こどもに伝える方法（2時間） → 「ワークショップ体験」
③自身の活動を振り返る力	・自己評価と集団形成（3時間）

■履修時間 「こどもパートナー」4時間以上 + 8時間以上 = 計12時間以上

「こどもパートナー」「こどもサポーター」認証の証明としてバースポート発行を希望する場合は、認証料（2000円）が必要です。



教育支援人材認証制度とは？

平成20年度文部科学省「戦略的大学連携支援事業」として選定され、3つの教育系国立大学（東京学芸大学、奈良教育大学、鳴門教育大学）と子ども学部を持つ3つの私立大学（東京成徳大学、白梅学園大学、中国学園大学）が連携し、「地域に根ざす多様な教育支援人材の育成プログラムと資格認証システムの実践的共同開発」（6大学連携教育支援人材事業）として研究開発された制度。

■ 新施設／情報技術センター

撮影スタジオを開設しました



コンピュータ実習室として使用していたA22教室を、小型の作品や商品撮影ができるスタジオとして整備しました。このスタジオには、背景紙（バック紙）とストロボライト2灯が設置されています。開室時間は、情報技術センターに準じた時間で、4月以降にライセンスを取得した学生が使用できます。

大型ホリゾントのH11スタジオと共に、作品制作やポートフォリオ作成に利用してください。

ボランティア・スタディ3
「長八すくすく教室」で学生企画の講座を実施

2010 年度後期に教育 GP 科目「ボランティア・スタディ 3」を受講した 9 名の学生は、授業において長岡第八小学校での放課後の地域交流・文化活動を推進する「長八すくすく教室」のプログラム企画・運営に取り組みました。

受講生たちは、工作を中心としたプログラムの企画、材料の準備や事前リハーサル、開催当日の指導までを主体的に担当し、子どもたちと一緒にものつくりを体験することで、その面白さを伝えました。2011 年度も「ボランティア・スタディ 3」受講生は、近隣小学校区の「すくすく教室」において、プログラムの企画と講座運営に参画します。

2010 年 12 月 8 日 (水)
「紙の冒険：景色にカードを隠そう」



2010 年 12 月 15 日 (水)
「紙の冒険：不思議な魚をつくろう」



企画指導：「ボランティア・スタディ 3」受講生 9 名
担当教員：畑佐泰子（本学部美術学科教授）
森 邦彦（本学部美術学科教授）

2011 年度 <space B> 展覧会予定

学内ギャラリー <space B> では、2011 年度も多彩な展覧会を開催予定です。ジャンルを特定することなく、学外から足を運ばれる人々にも親しんでもらえる作品から、最新のアートを感じさせる前衛的な作品、学生企画公募展まで、幅広く展開します。また、展覧会に連動した公開講座も開講します。<space B> は、コミュニケーションの場として、創造性にあふれた活動の拠点になることを目指します。

Exhibition01 「×10 展」 出展作家



2011 年度 [前期]	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
Exhibition01 ×10 展	—— 展覧会：4 月 11 日 (月)～4 月 23 日 (土)				
	● アーティスト・トーク「私が描くイラストレーション」：4 月 19 日 (火) 13:30～16:20				

2010 年度に情報デザイン学科「情報デザイン専門研究 3」の授業に、ゲスト講師として出講した、第一線で活躍するイラストレーター 10 人によるグループ展を開催します。表現者としての立場で制作した、表現手法もスタイルも異なる個性あふれる作品をご覧ください。

アーティスト・トーク ※ 終了後にレセプションを開催します。
1 部 13:30～14:50 ノダマキコ × 生駒さちこ × 中川貴雄
2 部 15:00～16:20 サタケシュンスケ × トヨクラタケル × 中村晃大

Exhibition02 切り絵師・俊寛展	—— 展覧会：5 月 17 日 (火)～5 月 28 日 (土)				
	● 公開講座「イタリアの職人仕事」：5 月 17 日 (火) 13:10～16:20 講師：俊寛				
イタリア生活で出会った職人の世界を表現した切り絵の展覧会。切り絵で表現した職人の作業や表情と、そのモデルとなった職人の制作作品をあわせて展示します。本展では、イタリアの職人シリーズに加えて、昨年から始めた日本の職人シリーズ、また 2 階では小作品の展示も行います。	作家在廊予定日 ※ 切り絵の製作表演を行います。 17 (火) 16:30～18:30 18 (水) 12:00～18:30 28 (土) 12:00～17:00				

Exhibition03 日本パッケージデザイン大賞 2011	—— 展覧会：6 月 20 日 (月)～7 月 2 日 (土)				
	● 公開講座：6 月 25 日 (土) 14:00～15:30 講師：信藤洋二 (資生堂)				
(社) 日本パッケージデザイン協会主催で開催されるパッケージデザインコンクールの入賞作品を展示します。また、入選作品もパネルで一挙に公開。色と素材を組み合わせた存在感のあるパッケージデザインをご覧ください。					

Exhibition04 ミントデザインズ展 (仮)	—— 展覧会：7 月中旬～				
	● 公開講座：展覧会会期中に開講予定				
本学芸術学部の客員教授であり、「第 28 回毎日ファッション大賞」大賞を受賞したミントデザインズ (勝井北斗・八木奈央) の展覧会。ロンドン、ミュンヘンで開催された「Future Beauty: 30 years of Japanese Fashion」展にも出展され、台北にも巡回した、素材に対する感性があふれる作品をご覧ください。					

2011 年度 [後期] 開催予定

Exhibition05 学生企画公募展 10 月 3 日 (月)～10 月 9 日 (日)	Exhibition06 ファナティック・モノクローム 10 月 17 日 (月)～11 月 5 日 (土)	Exhibition07 大成蹊展 vol.3 本学卒業作家展 11 月～12 月 (予定)	Exhibition08 芸術研究センター企画展 1～2 月 (予定)
--	--	--	---